

BRAZIL

Serra do Boné

General Information

農園名	: Serra do Boné (セー・ド・ボネ)
農園主	: Carlos・Sérgio・Sanglard (カロス・セルジオ・サンガラド)
位置	: Araponga, Matas de Minas, Minas Gerais
標高	: 1,200M
栽培品種	: Red and Yellow Catuai
生産処理	: Natural, Pulped Natural
農園面積	: 87ha
COE受賞歴	: Pulped Natural部門 2003年1位、2006年4位、 2009年11位、2010年2位



Detailed Information

< History >

農園主であるCarlos氏は、1988年に「農園労働者にも、顧客にも、環境にも害のない素晴らしいコーヒーをつくる」という夢のもと、7haの土地を購入し、生産を開始しました。Carlos氏は、「土地にとって良いものは、農園労働者と顧客の健康にもよいものだ」と考え、高品質なものを作ることだけでなく、環境への配慮にも注力しています。

彼の持続可能性を重視する生産方針には、当初周辺の生産者は懐疑的でしたが、Carlos氏のコーヒーは2003年COEで1位、2006年には4位、2009年には19位、2010年には2位に入賞を果たしました。後に彼は「最終的に間違っていたのは誰だい？私ではなかったね。」と笑いながら語りました。

Carlos氏は農園を拡大し、現在は87haに及ぶ面積になりました。肥料の使用は最小限に、また、除草剤・殺虫剤を使用せず、環境と調和するコーヒー生産を継続しています。右上の写真は、農園内を流れる小川から直接水を飲むCarlos氏です。



< Processing >

Serra do Bonéでは、有機栽培が行っています。また、ロットの区別や果肉除去、アフリカンベッドでの乾燥等、全ての生産処理工程において、スペシャルティコーヒー生産のため徹底した管理に努めています。



< About Araponga Region >

Arapongaが属するMinas Gerais州は、スペインの国土と同等の広大な土地を持ち、傾斜の急な山がちなエリアや、広く平らなエリアなど、多様な環境を有しています。Arapongaの属するMatas de Minas地方はスペシャルティコーヒーマーケットでは有名なエリアです。生産者たちのきめ細やかな手作業により、高品質なコーヒーが生産されています。Serra do Bonéは標高1200m、風が強く岩がちで豊かな土壌を持つ傾斜地にあります。その岩がちな傾斜がのこぎりの歯のような凹凸を持つことから、Serra do Boné（ポルトガル語でのこぎり歯のこと）という名がつけられています。（右下写真参照）

